

昨年 11 月の年次大会以降、2015 春季生活闘争、労働者保護ルール改悪阻止闘争、組織拡大の取組み、そして、統一自治体選挙、これら 4 つを運動の柱として取り組んできました。この間全力で取り組まれてきた構成組織・地域協議会の皆さんはじめ、地方委員会に参加されたすべての仲間の皆さんに敬意と感謝を申し上げます。

さて、第一に、2015 春闘の取組み、中間とりまとめについてであります。

6 月 1 日現在の連合集計では 6,481 円、2.23%の賃上げとなっており、前年より 500 円、0.15 ポイント増えています。2 年連続でベースアップが広がったことは運動の成果として評価してよいと思います。

しかし、300 人未満では、4,584 円、1.90%となっています。連合山形集計では 4,035 円、1.52%という結果であり、地場中小においても昨年よりいい結果が出ているものの、大手との格差は拡大し、物価上昇に追いつくものとはなっていません。

経営者を説得するためには、要求づくり討論をしっかり行うこと、要求を勝ち取る交渉力を強くすること、交渉を後押しする組合員の大衆行動を配置すること、この三つの実践が必要であり、実践に向けた構成組織の指導力の発揮、単組に繰り返し足を運ぶ運動を連合山形全体としてより一層強めていく必要があります。

第二に、労働者保護ルール改悪断固阻止の取組みです。

連合は 1 昨年 10 月に闘争本部を設置し、中央・地方で様々な集会や広報宣伝活動を行ってきました。この 5 月 27 日には昨年に引き続きインターネット中継を行い、全国一斉に同時刻集会を開催しました。今、人口減少にどう歯止めをかけるか、そのためには若者の地元定着の推進が必要であることはが国・地方での最大の政策課題となっていますが、一生涯派遣・低賃金を推進する労働者派遣法の改悪や高度プロフェッショナル制度という名の残業代ゼロ法案、過労死促進法案が若者の地元定着に役立つはずはありません。連合は今国会での改悪を阻止するために、座り込み、院内集会など国会対策に全力を挙げてきましたが、明日、衆議院厚生労働委員会において強行採決が行われる可能性が濃厚となりました。強行採決が行われた場合は、連合本部の古賀会長が緊急記者会見を行うとともに、全国で抗議の街頭宣伝を行うこととなりました。

また、今国会では集团的自衛権を行使できるようにするための安全保障関連法案が最重要法案となっています。憲法審査会では三人の学者全員が憲法違反であると表明しました。民主党・社民党などは撤回を要求しており、連合も立憲主義を否定し、国民の理解を得ないままにするやり方を認めるわけにはいきません。

第三に、1000万人連合実現、組織拡大の具体的成果を挙げる取組みです。

それぞれの努力にもかかわらず、成果は極めて不十分です。6月1日にも組織拡大委員会を開催し、リストアップ名簿を中心に積極的に訪問を行うことを軸とする具体的取組みの意思統一を図りました。組織拡大は失敗の繰り返しの中で実現していくものですので、とにかく足で稼ぐしかありません。頭で考える、ペーパーを読んで考える運動ではなく、足を運んで、失敗して経験を積む運動スタイルの実践をしていきたいと思えます。危機感を共有化して、連合山形、地域協議会、構成組織が三位一体となり、具体的成果を挙げる取組みをスピードアップしていかなければなりません。ぜひ、構成組織の皆さんのご協力をお願いいたします。

第四に、統一自治体選挙の総括と山形市長選挙の取組みです。

おかげさまで統一自治体選挙は、県議8名、市議・町議24名、推薦候補全員の当選を勝ち取ることができました。とりわけ、山形市議選において与党で過半数を勝ち取ることができたことは大きな成果でした。混戦の中で、最後はやはり労働組合の推薦候補が当選したということから労働組合の力に自信を持つことが大事です。しかし、県議会も市町村議会も山形市以外は保守系候補が圧倒的であり、さらなる候補者擁立に努力する必要があります。女性候補の擁立も積極的取組みが求められています。

山形市長選挙は梅津ようせいさんが立候補を決意されました。梅津さんは政党には属さず、自民、非自民という枠にとらわれず、オール山形として頑張りたいと決意を述べておられます。連合山形は、山形市長には山形生まれの山形育ちである梅津さんが最適任であるとの判断から、本日の第7回執行委員会で推薦を決定しました。連合山形は、オール山形の中の一応援団として、当選に向けて総力を挙げていきます。今後の選挙にも重大な影響を与える一大決戦となりますので、山形地協だけではなく、連合山形全体の戦いと位置付けて、すべての構成組織、すべての地協で、山形市内の知人・友人への支持拡大の取組みをお願い申し上げます。

最後になりますが、わたくしは本地方委員会をもって退任をさせていただくことになりました。皆さんのご支援・ご協力があればこそその5年7か月でありました。心から感謝を申し上げ、冒頭の挨拶といたします。